常に世界最先端の開発に携われる会社

高度な技術力を保有するスペシャリストとして、三菱電機をはじめと した大手企業から高い評価を受けている会社です。コンプライアン

スに重きを置き、安心して働ける職場づくりに力を入れています。女

性はもちろん、男性の育児休業取得実績があるなど、ライフスタイル

に合わせた働き方ができる点も魅力の1つです。

性別・国籍関係なく募集中 三つの「こう」を持つ人を 石川縣

**高英**氏

以来、ワイヤレス給電技 術を龍谷大学と共同で 研究し続け、設計技術を



半導体デバイス周辺機器、情報通信機器などの開発・設計 4年制大卒:20万3000円 大学院卒:21万1000円

完全週休2日(土、日)、祝、GW、夏季、年末年始、誕生日休暇 ほか

健康保険組合、退職金制度、創立記念パーティー、同好会費補助、

提携保養所施設、独身寮、団体生保・損保、社内融資、業績表彰制度、

■ 賞与:年2回(4.9カ月分:2016年度実績)

兵庫県川西市・伊丹市、東京都、大阪府、福岡県 など

8:30~17:15 ※フレックスタイム制度あり



(上)2016年に導入した電波暗室。ノイズ評価からその対策までを行うことがで

(下)ワイヤレス給電でミニカーを走らせる試作機。この技術開発は経済産業省 近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2018」にも選出されている。

自

技術・サ

ービスを持つ企業

託といった「量」の両面からサポ 足により完遂できない開発・設計の受 顧客内エンジニアリング・リソ -スの不

つながるのです」(石川社長) 盛り込むほど、 まり、お客様の真のお困りごとを発見 たんだと気づかせてくれるビジネスに スよりも、こういうサ まっていることに対して応えるビジネ ジネスの軸足を量から質に移行中で たるものが技術コンサルですが、現在ビ す。というのも、既に欲しいものが決 Uて提案する技術コンサル的な要素を 「量の最たるものが設計受託 お客様に喜んでいただ れは当社の理念にも ービスが欲しかつ いるからで 質の最

部上場企業からなり、多様な保有技 開発に携わっているのも特徴だ。 企業規模が大きすぎず し世界の最先端を走る企業 ^規模の技術者集団である 上げの8割以上が東証1 部門横断

その同社の理念が「社会との不断

同時に社員一人ひとりの自己実現を指 共鳴を通じて、その進歩に貢献すると る」という言葉だ。そして自社 、外部との

ある のも中小企業では珍しい取り組みだ。 で、安心して の基礎力を高める集中講座を行う 向学心のある人です。三つの『こう』が ども新たに導入し、進取の精神が社内 師陣による社員教育に力を入れて にあふれているのも同社の社風だろう。 ん。エレクトロニクス分野以外の専攻 弊社が求めるのは好奇心・向上心・ 人なら、年齢・性別・国籍を問い

(石川社長)

# 構造技術課 大野 祐貴氏 大き 造シミュレーション(解析)技術を用いて、 国内企業や研究機関の設計・開発支援 を行っています。最先端の半導体デバイスから 電力システム製品まで、対象は多岐にわたりま す。配属以来、解析データや実験結果から製品 の機械強度や寿命を予測し、より高機能で信 頼性の高い製品にする方法を、お客様と一緒 に考えてきました。今では提案できる課題解決 方法も増えています。技術と信頼で、社会を支

える技術者になりたいと思います。

# 技術も信頼関係も積み 様々なお客様の製品の課題解決に携わって

# あらゆる要望を解決できる企業に ロニクス分野の開発・設計に関 技術教育センター 的な連携を図りやすいのが強み。 ルと技術者教育ビジネスを開始した ノウハウを生かし、社外への技術コン |機メ-という教育専門組織 ・カー出身の講

さらに電波暗室や防水試験設備な

とで、企業の外部から不得意な技術 のような開発設計会社を活用す 前主義」が原因である。そこでW ると石川社長は指摘する。 ションの活用で効率化でき を調達するといったオ 社で完結しようとす る余地が る「自

②評価・解析に基づく開発方向性の 面からお客様をご支援するのが弊社 日本はもっと研究開発の効率が上が の役目。簡単にいえば質はノウハウ・知 識・知恵などの提供であり 有技術を他社から気軽に導入すれば は先進国で最下 「研究開発活動において外部との協 務そのものの提供で 持っている企業の割合が日本 顧客非保有技術の伝授、 そのために、 位で す」(石川社長) 質と量の両 自社の非保 、量は設計

引き上げる、開発・設計促進業、で

ションを加速して国内の開発効率

で遅れているとされるオ

るはずで

ただく会社です。一般的分類ではエンジ ーアリング会社ですが、私たちは日本

して設計エンジニアとしてご活躍

ブ・テクノロジ、以下WT

ー)は、開発・設

したエンジニアリング会社だ

「弊社は製造部門を

持たない

士の肩書を持つ石川高英代表取締役 ると自社を定義しています」と工学

③顧客にカスタマイズした開発

国際比較すると、日本は先進国の

というのも、各国の研究開発効率

最下位に位置するのが実情。これは

1984年(昭和59年)三菱電機の半導体事業の技術支援会社として

三菱電機グループであるミヨシ電子など関連会社8社が共同出資し設立されたのが

Wave Technology。30年以上技術力で勝負する「開発・設計促進業」の強みとは?

日本企業の

も自

上させる促進業を自負

30年以上、

無線・光・電気など波が

とになった信号を扱う技術力で

Technology(ウェ



兵庫県川西市久代3-13-21 ※事業所(東京都1カ所)

1984年 三菱電機グループであるミヨシ電子株式会社 など関連会社8社が設計専門会社として 「株式会社ケーディーエル」を設立 2005年「株式会社Wave Technology」に社名変更

2008年 実用化研究開発事業に採択(中小企業庁) 2009年 ISO 14001認証取得(JACO) 2012年 ISO 9001認証取得(JUSE)、 研究成果最適展開支援プログラム A-STEPに採択(JST)

2013年 ものづくり中小企業·小規模事業者試作 開発等支援補助金に採択(中小企業庁)

資本金 5000万円

売上高 21億9300万円(2017年3月期)

從業員数 212人(2017年12月現在)

https://job.rikunabi.com/2019/company/



100

101